

7月全校朝会 校長講話

おはようございます。今年に入ってから初めての全校朝会です。感染防止のために放送で行いますが、私が全校のみなさんにこうやってお話しするのも初めてですね。私は朝会や式典などでみなさんにお話しする機会が時々ありますが、私の話は私の授業だと思って聞いてください。

今日の授業のテーマは「学校は誰のためにあるのか」というお話です。

学校が再開して1か月余りが経ちました。4月からもっと言うと3月から5月までは、みなさんたちが自宅待機になって、学校は生徒がいない異常な状態でした。当たり前ですが、学校は生徒の皆さんがいて、初めて「学校」として成り立つのです。だから今日の授業のテーマの「学校は誰のためにあるのか」の答えは簡単です。「学校は生徒のためにある」ということです。

先生たちは、学校の休校期間中、その当たり前のことを改めて突き付けられました。だからどこの学校よりも早く、どこの学校よりもたくさん You Tube の動画配信をしたり、個人面談をしたり、生徒のために何ができるかを考えて一生懸命に取り組みました。15分から20分の動画を1本作るのに実際は何時間もかかりました。

対して生徒の皆さんたちはどうだったでしょうか。急に学校が休みになって夏休みでいうと2回分もの日数、自宅待機を余儀なくされて、どう過ごしていましたか。中には、自分に厳しく毎日計画的に学習や運動に取り組み、ストイ

ックに過ごしたことにより、学力や体力を大幅に伸ばした人もいます。その人たちは素晴らしい。拍手を送ります。でも大半の人たちはどうでしょう。もう一度振り返ってください。3月に学校が大人の都合で急になくなり休みになって、卒業期やクラスのまとめの時期が奪われ、悲しい思いや寂しい気持ちをもったのではないですか。4月からは新たな気持ちで再開だと思っていたのに再度休校になり、戸惑ったことでしょう。学校があれば勉強したり部活をしたりいやでも時間が決められて行動していたのに、いざ休みが延々と続くと、頭ではしっかり計画的に過ごさなければとわかっているのに、なんとなく過ごしてしまったり、だらだらしてしまったりした人が大半ではなかったかと思います。

休みの間に校長先生は、動画を配信してみなさんに呼びかけました。見てくれた人もいます。その時に先生は「どうして学校に来るのだろう」という話をしました。学校に来るのは「変わるため」、学校に来るとわからなかったことが分かるようになったり、友達と過ごす中で様々なことを経験したり、部活や体育で体力をつけたり、行事を通してみんなと絆ができたり・・・日々変化することができるから君たちは学校に来るのですという話でした。

そして学校が再開しました。最初に言ったように学校は生徒の皆さんのためにあります。だから朝霞二中の先生たちは、生徒の皆さんのために、みなさんが安心して通ってこられて、楽しく過ごせて、日々より良く変わっていただけるためにできる限りのことをしようと考えています。

本来は制服登校であったものをジャージでも体操着でもよいことにしたり、休校中に差がついたみなさんの学習状況や始まってすぐのテスト 1 回で評価するのは不利になると考えて9月に成績を出すことにしたり、部活動も段階的にできるようにしたり、つい先週ですが3年生の修学旅行も行く方向で進めることにしたり・・・すべては生徒の皆さんのために考えてやってきました。これからも先生たちは君たちのために頑張ります。

でも、最後にお願いが一つあります。それは、みなさん自身に考えてほしい大切なことです。

「学校は誰のためにあるのか」・・・「学校は生徒のためにある」これをもっと突き詰めていくと「学校は生徒の皆さん一人一人が作り上げるものである」ということです。学校の主役であるみなさん一人一人が、安心して通ってこられて、楽しく過ごせて、日々より良く変わっていけるためには、みなさん一人一人の力が必要です。先生方がいくら頑張ってもそれだけでは学校は良くなりません。学校は生徒のためにある、その生徒が自ら考えて主体的に行動して、作り上げていくものです。やっと始まった学校生活を充実させて、朝霞第二中学校を最高の学校にしていくために主役である生徒のみなさんの頑張りに期待しています。今日の私の授業はこれでおしまいです。最後まで聞いてくれてありがとう。終わります。